

S S H研修

S S H指定5年目の節目を迎えた今年度のS S H研修が、去る5月5日・6日の2日間にわたって行われました。大阪市立大学 櫻木弘之教授をお迎えし、また、本校卒業生(現大学院生3名・大学生2名)の協力を得ての研修です。課題研究生徒1年生42名及び2年生18名を対象とした本研修は、生徒の科学技術に対する興味を深め学習意欲を高めることはもちろん、プレゼンテーション能力を養成することにも効果を発揮した模様です。生徒対象のアンケートでは、以下に挙げる取り組みに対して9割以上の生徒が「成果があった」と考えていました。

(内容)

- ・本校教諭による課題研究の説明・3年生課題研究最優秀班の発表
- ・大学教授(大阪市立大学 櫻木 弘之 教授)による講演
- ・2年生課題研究選択生徒によるS S H活動の紹介
- ・2年生課題研究選択生徒の研究発表
- ・大学生・大学院生との交流会

また、生徒の感想が多く寄せられましたが、いくつかを紹介しておきます。

＊本校教諭による講義を受けることにより、「研究の進め方」を改めて見直す良い機会になった。

＊櫻木教授の「何でもいいから夢中になれ。」「大切なことは『出会い』。何かに熱中した経験は大切なものに出会った時に生きてくる。」「身近な現象など、どんなことにも興味や疑問を持ち、よく観察したりしてみると同時に、一つのことを最後まで極めて柱をつくることが大切である。」というお言葉が印象に残った。何でも自分でやってみることが大事で、失敗してもそれが経験になって、将来の研究などできっと役立つということがわかった。すべての勉強はつながってくるので、おろそかにしてはいけないとわかった。これから課題研究を頑張ろうと思った。英語が大切であることも良く認識できたので、今後、真剣に英語の学習を頑張ろうと思った。

＊2年生の研究内容や過程を聞き、良い研究ができるように勉強も頑張ろうと思った。テーマに関しては、自分の中にやりたいことがあり、事前に学習を深めていくことが大切だと感じた。1年生の早い時期からテーマについて考えていくべきだと思った。

＊他の班の発表を見て、自分の班の発表の至らないところを発見できた。いくら良い研究をしていても発表が下手では良い評価が得られないので、プレゼンテーション能力を高めることが大切だと感じた。



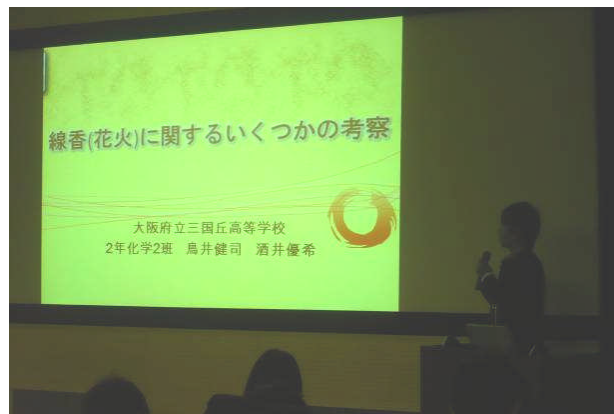
校長の挨拶



本校教諭による「課題研究の進め方」の説明



櫻木弘之 教授による講義



2年生の研究発表



3年生 課題研究最優秀班の発表



S S H行事等の紹介



大学生との交流



大学院生徒の交流



集合写真 本校北館 玄関前 にて